



学校教育目標「夢に向かい 共に学び 行動する子」 No.4

安心・安全な教育環境を ～復旧作業を急ピッチですすめています～

6月2日(金)、9日(金)の大雨の影響により、地域や保護者の皆様の中には、未だに御不便を強いられている方がいらっしゃると思います。心よりお見舞い申し上げます。

学校でも、阿多古川から敷地内に水の流入がありました。昇降口前で約60cmの高さまで冠水した跡が残っています。運動場や敷地内通路、校舎下は、地面の浸食、瓦礫や泥、流木などの流れ込みがありました。また、屋外にあった物品が流されたり、電気機器に水が入り使用できなくなったりしました。子供たちの学校生活への影響が心配されましたが、現在、復旧作業を急ピッチで進めています。電気機器の交換、泥や瓦礫等の撤去や整地、崩れた部分の修復、防球ネットの張替え等が完了しました。運動場も仮復旧が完了し、屋外での活動が可能になりました。

保護者の皆様、地域の皆様には、休校や学校行事の中止、変更等により御迷惑をおかけしたにも関わらず、御理解・御協力をいただくとともに、多くの御心配のお言葉をいただきありがとうございました。

完全復旧には、もうしばらく時間がかかる見込みですが、子供たちが元気いっぱい、安心・安全に活動できる教育環境の整備に取り組んでいきたいと思ひます。引き続きの御支援をよろしくお願い申し上げます。



田植えを行いました ～受け継がれる、伝統の米作り～

6/16(金)に田植えを行いました。子供たちは、さわやかな風が吹く晴天のもと、水田の水や土の感触を味わいながら、友達と力を合わせ、実に楽しそうに活動していました。米作りは、次のようなねらいのもと本校が長年取り組んでいる行事です。

- 自分の手で田植え、稲刈りなどを行うことで、米作りの楽しさや大変さを体験し、米作りについて関心を持つ。
- 下阿多古幼稚園児や保護者、青葉会の方々と一緒に働くことによって、共に働く楽しさやふれあいの楽しさを味わう。
- 田おこしや代かきをしてくださった方々、用水に水を通してくださった方々、田植えや稲刈りなどの指導をくださった方々に感謝の気持ちを持つ。

過日の大雨で田への土砂の流入や通路の崩れなどがあり、今年は、米作りができないのではないかとあきらめかけていました。しかし、地域の方から「できるよ。」と力強い後押しのお言葉をいただいたおかげで、私たちも勇気もらい、幼稚園と学校の職員、保護者の方、地域の方、工事業者の方の力を結集して、復旧作業を行い、日々大きくなる苗の成長に間に合わせる事ができました。

150周年という特別な年の米作りが、さらに思い出深いものになりそうです。

米作りの活動は、まだ始まったばかりです。すかい作り、稲刈り、脱穀等々、1年を通して取り組んでいきます。それらを通して、地域の自然、地域の人、地域の文化を愛する心を育てていきたいと思ひます。

当日、早朝より一緒に活動し、サポートしてくださった保護者の皆様、御指導くださった青葉会の皆様、本当にありがとうございました。



いのちについて考える

浜松市では、6/12を「いのちについて考える日」としています。過去に浜松市内で起こった悲しい出来事を二度と繰り返すことがないように、浜松市の子供たちに命の大切さを考えてもらうためです。

6/15の会礼で、感謝の気持ちを伝えることが、友達と仲良く、楽しく生活するために大切であることを話しました。「いつでもカービィー『ありがとうを届けに!』」の動画を見て、次の言葉を伝えました。

「ありがとう」は何度言ってもいい。「ありがとう」の数だけ人は幸せになる。

普段は気づきにくく、当たり前と思えるようなことにも目を向け、言われた人も、言った人も温かい気持ちになる「ありがとう」を、学校でも御家庭でも声に出して伝えられるといいですね。



リモート授業の御協力をありがとうございました

休校となった6/9に、2年生以上でリモートでの朝の会と授業を試みました。普段から学校ではタブレットを使った授業を行っていますが、今回、御家庭と学校とをつないでの授業を試みたことで、タブレットを使った学習の可能性が、さらに広がったことを感じました。1年生でも、タブレットを授業で活用していけるように準備を進めています。御家庭に持ち帰った際は、保護者の皆様にWi-Fi接続をサポートしていただくこととなります。御協力をお願いします。

